

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等	主要地方道松川インター大鹿線					
事業毎の通番		4	市町村名	中川村	箇所名(ふりがな)	西下(に)した)				
事業概要	事業目的	主要地方道松川インター大鹿線は、落石が多く、平成25年3月から現在まで14件の落石事故が起きている。当該地においても平成28年4月と6月に2件の落石による物損事故が起きた。この路線は、大鹿村と松川町飯田市方面を結ぶ大型車の通行可能な生活道路であり通行車両の安全を図る必要があるが、今後これに加えリニア中央新幹線関連工事の工事車両の通行が多くなる予定である。このため、通行車両の安全を確保することを目的に山腹工を施工し斜面の安定を図る。								
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	森林法					
	関連する事業、計画等	リニア中央新幹線事業								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	主要地方道 50m								
	着手年度	平成30年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	4.2	国庫	その他	県債	一般財源		
	全体事業内容(主な工種)	山腹工 0.06ha			47,000	23,500		21,000	2,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	主要地方道 50m								
	間接的効果(定量的・定性的)	特になし								
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画自動車交通量：一般車1,687台/日に加え工事車両1,350台/日(往復)の通行が予定されている</li> <li>○代替道路の有無：大鹿村と連絡する大型車の通行可能な唯一の道路</li> <li>○医療・福祉・教育施設との連携：特になし</li> <li>○保安林・林業用施設：土砂流出防備保安林(T3.4.7指定)</li> </ul>							評価	C
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合：リニア中央新幹線関連工事のための資材搬入車両の安全確保が必要</li> <li>○交通遮断による地域への影響：大鹿村と松川町飯田市方面の大型車の唯一の通行可能路線</li> <li>○緊急輸送路の指定：第2次緊急輸送路</li> </ul>							評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果(B/C)：4.15</li> <li>○事業期間：2年間</li> <li>○工法の比較検討：山腹工の吹付工とロープ伏工について比較検討をした</li> <li>○他事業との連携：リニア中央新幹線関連工事との調整を図る予定</li> </ul>							評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の落石事故件数：H28から現在まで2件の落石事故が発生</li> <li>○緊急輸送路の指定：第二次緊急輸送路</li> <li>○今後の通行車両の状況：リニア関連工事の唯一の資材搬入路で工事車両は増加する(1,350台/日 往復)</li> </ul>							評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有：中川村リニア対策協議会及び大鹿村リニア連絡協議会に参加し周知する予定</li> <li>○地域の取り組み：協力的である</li> <li>○地域の合意形成：合意形成に基づき要望されている</li> <li>○住民との協働：特になし</li> </ul>							評価	B
	所管課意見	主要地方道上部には、落石の恐れが岩盤が多く、落石が頻発している状況である。この道路は大鹿村方面からの重要な生活道路であるとともに、リニア中央新幹線関連工事の工事車両が多い路線であることから、山腹工による落石対策工事を行う必要がある。				採択状況	○			総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。									

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
		
事業概要説明図表	【整備の必要性がわかる状況写真等】	
	 <p>山腹工計画地</p>	 <p>落石により破損したトラックの運転席上</p>
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	主要地方道松川インター大鹿線は、大鹿村と松川町飯田市方面を結ぶ大型車が通行可能な唯一の生活道路である。しかし落石が多く平成25年3月から14件の落石事故が起きている。また、今後リニア中央新幹線関連工事の工事車両の通行も多くなることから通行車両の一層の安全確保が求められている。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H29. 5月に中川村から当該箇所の対策工事の要望が上げられた。
	③事業説明等の経緯	今後、計画段階で中川村リニア対策協議会及び大鹿村リニア連絡協議会に参加して事業内容の周知を図る予定。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	当該箇所は、地元の通行車両の安全確保に加えリニア中央新幹線関連工事車両の安全確保についても重要な事業である。平成28年7月14日に道路管理者である飯田建設事務所と打合せを実施し、今後、計画段階で再度内容等について協議を行っていく予定。
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	自然環境に影響を与えにくい工法を検討している。
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通車両の安全が図られ、リニア中央新幹線事業の進捗と大鹿村の観光施設等の活性化も期待される。
	⑦その他	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35' 36' 36" 東経:E 137' 58' 29"